

所属・資格 教育学科・教授

申請者氏名 望月 由起

研究課題		キャリア教育を基軸とした高大接続の可能性と課題
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>変化の激しい時代において、新たな価値を創造していく力を育成するために、高大接続改革が推し進められている。</p> <p>本研究では、各学校段階の教育活動全体を通じた取り組みが期待される「キャリア教育」に着目し、それを基軸とした高大接続の可能性と課題について、高等学校や大学などの教育現場の実情にも目を向けながら検討する。</p> <p>本年度は、本研究のベースとなる現状の情報収集・整理に特に力をいれていく。</p>
	研究の結果	<p>現状の情報収集・整理として、まず、申請者が関わっている質問紙調査や観察調査について、本研究の目的に照らし合わせた再分析を行った（その成果は、他の研究の成果と合わせて学術書として公表するとともに、教職志望学生向けの教科書にも取り入れている）。</p> <p>また、高校教育と大学教育を接続する大学入試において、高校生のキャリア意識や高校でのキャリア教育をどのように評価しているのかについて、首都圏国立大学を中心に情報収集を進め、データベース化に着手した。</p>
	研究の考察・反省	<p>学習指導要領の改訂に伴い、高等学校への導入が期待される「アカデミック・インターンシップ」「キャリア・パスポート」等は、本研究との関わりが予想される取組である。また、現職教員との意見交換では、キャリア意識形成に関わる新たな課題も指摘されている。</p> <p>こうした点をふまえ、次年度は、高校生や大学生のキャリア意識形成に影響しうる働きかけをより広く探るとともに、教育課程の中での意図的なキャリア教育、特に大学との接続・連携を意識した高校側の取組にも目を向けていく。また、大学入試、特に特別選抜入試における高校生のキャリア意識や高校でのキャリア教育の評価についても、引き続き、情報収集・データベース化を進めていきたい。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所		<p>[研究発表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員支援機構キャリア教育指導者養成研修「発達段階に応じたキャリア教育:縦の連携を意識して」2018年7月3日、9月11日</li> <li>・東京都「中学生の職場体験」推進協議会「中学生の職場体験に期待すること」2018年7月13日、「事業者と学校の連携による職場体験の充実」2019年1月18日</li> <li>・岩手県授業力向上研修講座(キャリア教育)「これからのキャリア教育と進路指導の在り方」2018年8月1日、2019年1月8日</li> <li>・群馬県高教研進路指導部会「大学におけるキャリア教育の現状及び高校のキャリア教育への期待」2019年1月22日</li> </ul>
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者		<p>[研究成果物]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「我が子に対する学歴期待と自身の大学時代の学びや成長—大学既卒者に対する大規模調査に基づいて—」耳塚寛明・中西祐子・上田智子編著『平等の教育社会学：現代教育の診断と処方箋』勁草書房、2019年2月</li> <li>・「多様化する日本の大学の学寮機能」安部有紀子・望月由起・橋場論編著『学寮プログラムの現代的展開』広島大学高等教育研究開発センター、2019年3月</li> <li>・「高等学校におけるキャリア教育実践の在り方」藤田晃之編著『キャリア教育』ミネルヴァ書房、2018年11月</li> <li>・「学級活動・ホームルーム活動の理論と指導法」関川悦雄・今泉朝雄編著『特別活動・総合的学習の理論と指導法』弘文堂、2019年1月</li> <li>・「キャリア教育と今後の学校教育の在り方」『中等教育資料』2月号、2019年1月</li> </ul>